

DOUBLE SKATUTER

ダブルスカッター SDG-205G

取扱説明書



このたびはダブルスカッターをお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

取扱店

株式会社
SHINKO 新興製作所

東京都千代田区神田東松下町11番地
郵便番号101 電話 東京03(3252)8861(代)

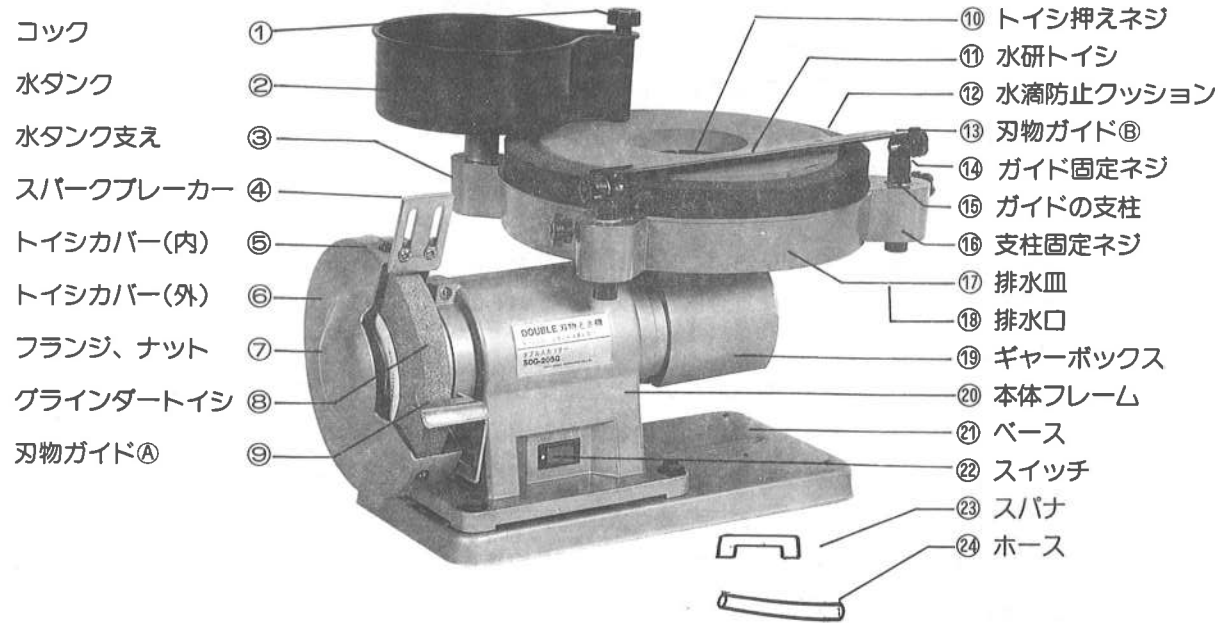
■電動工具ご使用についてのご注意

- 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧でご使用下さい。100V用のものを間違えて200V電源に接続して使用しますと、モーターの回転が異常に高速となり、機体が破損するおそれがあります。
- 機体の内部に水を入れないように注意して下さい。
- 感電防止のため漏電遮断器が設置されていることを確認して下さい。設置されていない場合は二重絶縁品を除き必ず正しい接地(アース)をして下さい。
- 引火、爆発の恐れのある物質(ラッカー、シンナー、ペイント、ガソリン、ガス等)のある場所では危険ですから絶対に使用しないで下さい。
- 作業する場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。作業の前に作業場所を確認してから作業を開始して下さい。
- 無理な姿勢で作業をしないで下さい。常に足元に注意して安定した姿勢で作業して下さい。
- 作業はきちんとした服装で行なって下さい。ネクタイをつけたり、袖口を開いたまま作業をしますと、回転物に巻き込まれるおそれがあり、非常に危険です。
- 作業場所、作業台は常に整理をし、明るくして作業をして下さい。
- 電源コードをつかんで本機を移動したり、スイッチに手をかけて動かしたりしないで下さい。又、電源コードの上に物を置かないで下さい。
(注)コード線が損傷したら、すぐに新しいコードと交換して下さい。
- 作業中は保護メガネをご使用下さい。又、埃が発生するときはマスクをご使用下さい。
- 機体の風窓はモーターを冷やすために必要です。埃が飛ぶからと言って風窓をふさがないで下さい。もし、ふさがりますと、モーターの温度が上昇し、焼損の原因となります。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は運転前に本機から取り除いて下さい。
- 運転中は絶対に回転部にふれないで下さい。運転中に異常に気が付いたとき、点検、修理、先端と石の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて下さい。
- 作業が終わりましたら埃を取除き、手入れをしてお子様の手のとどかない、湿気の少ない場所に保管して下さい。
- 常に安全に能率よくご使用していただくため、定期点検をして下さい。
- 本機は取扱説明書に記載した以外の用途には使用しないで下さい。
- と石や刃物ガイド等はよく手入れをし、よい条件でご使用ください。手入れの悪い状態で使用しますとよい仕上がりは望めません。又、作業能率もあがりません。
- 本機を誤って落したり、ぶつけたりしますと変形したり亀裂や損傷が生じることもあります。取扱いにはくれぐれもご注意下さい。
- 本機をお子様など、正しい操作を知らない人に使用させないで下さい。
- 本機の部品を交換する場合は、必ず指定された純正部品をお使い下さい。修理はお買求めの販売店または直接当社にお申しつけ下さい。
- 工場または事業所で使用する場合、各都道府県等の条例で定められた騒音規制値以下でご使用になることが必要です。必要に応じ、防音塀を設けて、周囲に迷惑をかけないようにご使用下さい。

■使用上のご注意

- 本機のグラインダートイシは、主として工具・刃物の研削を目的とし、ウエットトイシは水とぎで仕上げを要する刃物に適しています。特に厚みのうすい刃物、片刃の刃物には最適です。
- ウエットトイシは水を使用しますので、本機のモーター部、ギヤ一部には絶対水を入れないようご注意下さい。又、グラインダートイシで水とぎをしないで下さい。
- トイシは左右同時に回転します。片方で作業をする時に、もう一方のトイシに触れないよう注意して下さい。
- 作業中は保護メガネをご使用下さい。又、研削粉が多く出るときはマスクをつけて下さい。
- 研削粉は火花となって飛散しますから、引火しやすいもの(ガソリン、シンナー等)は近くに置かないで下さい。
- 使用する前にトイシの亀裂、割れがないことを確認して下さい。又、ご使用前に必ず試運転をして下さい。トイシの止めネジが緩んでいないかも確認して下さい。
- トイシの交換、ガイドの調整等のときはスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いて下さい。
- 刃物を研ぐ時は無理に押しつけて回転数が大巾に低下するような負荷をかけないで下さい。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。
- 水量の調整はトイシの面に研ぎカスが少し残るくらいに調整して下さい。トイシの面は水洗いしないで下さい。
- 水槽の水の出口をトイシの内径の先端にくるようにして下さい。中間部に水が落ちるようにしますと遠心力でトイシの外周に水が落ち、内側の面が乾いてしまいます。
- 排水皿の下側に排水口がついています。必ずパイプを接続して容器で受けるようにして下さい。
- 排水皿の排水穴が研ぎカスでつまることがありますので、作業が終了しましたらトイシのセンターの水を取除き、排水皿、その他をきれいにし湿気の少ない場所に保管して下さい。

■部品の明細



■仕様明細

品名	ダブルスクッター SDG-205G
電圧	AC100V
周波数	50/60HZ
消費電力	150W
電流	1.6A
回転数	DRY3,000/3,600 WET400/480RPM、
定格時間	30min
トイシの寸法	DRY150×19×12.7% WET205×25×80%、(#1,000)
重量	9kg

■付属品

水タンク	1ヶ	プラスチック容器
ホース	1ヶ	プラスチックホース
スパナ	1ヶ	鉄製

■特別付属品

精密ガイド	刃物押え1ヶ、刃物支え1ヶ	別売
荒砥石	#180	〃
仕上砥石	#6,0000	〃

※本機は改良のため、予告なく仕様を変更することもあります。

■組立方法

- グラインダトイシ側の刃物ガイド⑬と、スパークブレーカーをセットして下さい。
(注) 刃物ガイドとトイシの外周とのすき間は1~3mmに調整して下さい。スパークブレーカーは3~10mmに調整して下さい。
- 水滴防止クッションをトイシの上面から約1~2mm高くなるように調整して下さい。
(注) 必要に応じて上下の調整は自由です。
- グライNDERのナット、トイシ押えネジが正確に締まっているか確認して下さい。
- 支柱固定ネジをゆるめ、刃物ガイドの位置、角度を設定して下さい。設定しましたら固定ネジを締めて下さい。
(注) 水研ぎの刃物ガイド⑬が不要の時は取除いて下さい。この場合、刃物を強くにぎって研いで下さい。
- 水タンクを排水皿に差し込んで下さい。
(注) 水タンクのコックの先端がトイシの内周の先端から3mm位のところにくるようにして下さい。
- コックは左右どちらに回しても給水、給水停止ができるフリータイプコックです。
- 排水ホースを排水皿の下部のパイプに差し込んで下さい。
(注) 排水がモーター部、ギヤ一部に入らないように注意して下さい。
- 本体フレームの後面にアース端子がついています。ご使用前に必ずアース(接地)をとって下さい。

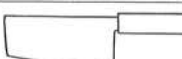



■刃物の種類

- 刃物の刃のつけ方により、研ぎ方法が異なります。研ぐ前に確認して下さい。

① 両刃 

② 片刃 

■包丁の種類と刃先の種類、研ぎ方法

種類	菜切包丁	牛刀	刺身包丁	出刃包丁
略図				
刃の種類	両刃	両刃	片刃	片刃
刃つけ方	刃の角度に合わせて、両面同じように研いで下さい。		● 刃先に角度のついている面を角度に合わせて研いで下さい。 ● 裏面のかえりは回転を止めて、トイシ面に平らに当て軽くこすって下さい。	

■ご使用方法

●水滴防止フツシヨンの調整

①フツシヨンの高さは、トイシの上面から1～2mm位高くなるようにセットして下さい。

②フツシヨンは手で簡単に上下の調整ができます。必要に応じて高さを調整することが出来ます。

●水量の調整

①水タンクの水量調整はコックを左右に回しますと、水量の調整ができます。

②トイシの面の水量は研ぎカスが少し残るくらいが適当です。

(注) トイシの面に大量の水を流したり、トイシ面が乾くのは不適量です。又、使用中はトイシ面の研ぎカスを洗わないで下さい。

③水がトイシの面に落ちるとき、遠心力で周囲に飛ばされますので、トイシの内周面に落ちるようにして下さい。

④ご使用前にトイシの面に十分水をふくませて下さい。

●トイシの取付け、取りはずし

①トイシ押えネジの切り込み部にスパナを差し込み、LOCKの方向に回すと締まり、逆の方向に回すとゆるめることができます。

(注) トイシの亀裂、割れを確認して締めつけて下さい。

(注) トイシを交換するときは、片手でトイシを押えて、スパナで回して下さい。

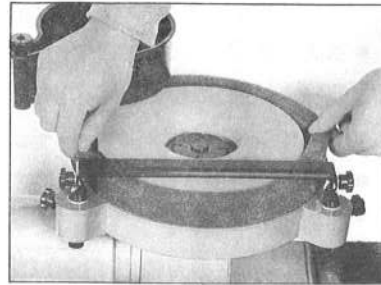
(注) ご使用後は、トイシの面をきれいに洗って目づまりをなくして下さい。

●刃物ガイドの調整

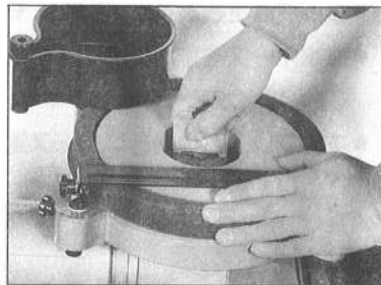
①刃物ガイドの支柱固定ネジとガイド固定ネジをゆるめて下さい。

②次に刃物ガイドの上に、刃物を置いつ度良い角度になるように調整して下さい。調整が終了したら固定ネジを締めつけて下さい。

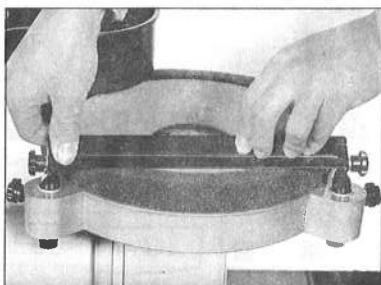
(注) トイシを交換するときは、片手でトイシを押えて、スパナで回して下さい。



●水滴防止のフツシヨンの調整



●トイシの取付け取りはずし



●刃物ガイドの調整

■特長

●ダブルスカッターは1台でグラインダー研磨と、水研ぎができます。

●水研ぎは高性能の化学トイシをセットし、グラインダートイシはビドルファイドをセットしてあります。

●水研ぎはコック付の水タンクがついていますので、刃物研ぎに合わせて、水量の調整ができます。

●刃物ガイドがついていますので、正確に研ぐことができます。

(注) 精密にとぐ場合などは、別売の精密ガイドをご利用下さい。

●水滴防止フツシヨンをセットしてありますので、水の飛散を防止できます。又、刃物が触れても刃物を傷つけたりしません。

■用途

●包丁、はさみ、カッターの刃、かんなの刃、のみの刃などの刃物から、かま、なた、おの等の刃物研ぎに最適です。

●一般のご家庭用に。

●レストラン、食堂、料亭、その他飲食店関係に。

●魚屋さん、肉屋さん等に。

●大工さん、工務店、内外装屋さんに。

●畳屋さん、縫製業、靴修理屋さんに。

●学校の工作室に。

●プラスチックの仕上げに。

●農業、山林業に。

●その他の刃物とぎに。

■刃物の研ぎ方法

●刃物を研ぐ前に両刃、片刃を確認して下さい。

●刃物の角度に合わせて刃研ぎをして下さい。トイシに刃を当てる時は、手前の方から当てるようにして下さい。

●刃物研ぎは裏面に刃先のかえりができれば、ほぼ出来上がりです。

●裏面(角度のついていない面)は回転を止め、トイシの面に平らに当てて軽くこすって下さい。

●特殊な刃物を研ぐ時は、刃物専門店にご相談下さい。

(注) 刃研ぎのときは、刃物の柄の部分と金属部を強く握って研いで下さい。

■はさみ、かんな、のみ(片刃)の研ぎ方法

●角度のついている面の刃を角度に合わせて研いで下さい。

●裏面のかえりは回転を止め、トイシの面に平らに当てて、軽くこするようにして下さい。

(注) 裏側を角度をつけて研ぎますと刃物は切れが悪くなる場合があります。特にハサミは裏側を研いではいけません。ご注意下さい。